

*****2008.5.28*****

CGL NEWS III Vol.2

Conference on Green Logistics in Japan

<http://www.logistics.or.jp/green/>

『CGL NEWS III』は、第3期環境会議メンバーの方々を対象として、環境会議の活動状況と行政動向に関する情報提供を発信しております。

<目次>

1. 2007年の年平均大気中二酸化炭素濃度が過去最高に(気象庁)
2. 「脱温暖化2050プロジェクト」～低炭素社会に向けた12の方策～を発表(環境省)
3. グリーン物流研究会 5月21日に第1回会合を開催
4. 第4期グリーンロジスティクスエキスパート講座(東京)
-7月11日(金)に開講-
5. 第4回グリーン物流基礎コースのご案内(大阪開催)
6. <6月6日開催>第2期環境会議委員会活動 成果発表会のご案内
7. <コラム>メーカーの物流部門における環境対応に必要なことは？

★

2007年の年平均大気中二酸化炭素濃度が過去最高に(気象庁)

★

気象庁では、大気環境観測所(岩手県大船渡市綾里)、南鳥島気象観測所(東京都小笠原村)、与那国島測候所(沖縄県八重山郡与那国町)の国内3地点で、大気中の二酸化炭素濃度の観測を実施しておりますが、このたび2008年4月の観測を終え、以下の結果を発表しました。

<結果概要>

- ・2007年の年平均大気中二酸化炭素濃度は過去最高
- ・2008年4月の大気中二酸化炭素濃度は、観測開始以来の最高値を記録

詳細は、下記気象庁ホームページをご参照下さい。

<http://www.jma.go.jp/jma/press/0805/23a/2007co2.html>

★

「脱温暖化2050プロジェクト」～低炭素社会に向けた12の方策～を公表
(環境省)

★

環境省は、「脱温暖化2050プロジェクト」のこれまでの研究成果を公表しました。

今回の取りまとめは、昨年2月の中間報告で示された「我が国が、2050年までにCO2の排出量を1990年比で70%削減し、豊かで質の高い低炭素社会を構築することは可能である」との結論を受けて、70%削減を現実のものとするための具体的な12の方策を提案するものです。

12の方策の概要は以下のとおりです。

1 快適さを逃さない住まいとオフィス

建物の構造を工夫することで光を取り込み暖房・冷房の熱を逃がさない建築物の設計・普及

2 トップランナー機器をレンタルする暮らし

レンタルなどで高効率機器の初期費用負担を軽減しモノ離れしたサービス提供を推進

3 安心でおいしい旬産旬消型農業

露地で栽培された農産物など旬のものを食べる生活をサポートすることで農業経営が低炭素化

4 森林と共生できる暮らし

建築物や家具・建具などへの木材積極的利用、吸収源確保、長期林業政策で林業ビジネス進展

5 人と地球に責任を持つ産業・ビジネス

消費者の欲しい低炭素型製品・サービスの開発・販売で持続可能な企業経営を行う

6 滑らかで無駄のないロジスティクス

SCMで無駄な生産や在庫を削減し、産業で作られたサービスを効率的に届ける

7 歩いて暮らせる街づくり

商業施設や仕事場に徒歩・自転車・公共交通機関で行きやすい街づくり

8 カーボンミニマム系統電力

再生可能エネ、原子力、CCS*2併設火力発電所からの低炭素な電気を、電力システムを介して供給

9 太陽と風の地産地消

太陽エネルギー、風力、地熱、バイオマスなどの地域エネルギーを最大限に活用

10 次世代エネルギー供給

水素・バイオ燃料に関する研究開発の推進と供給体制の確立

11 「見える化」で賢い選択

CO2排出量などを「見える化」して、消費者の経済合理的な低炭素商品選択をサポートする

12 低炭素社会の担い手づくり

低炭素社会を設計する・実現させる・支える人づくり

特に、「6 滑らかで無駄のないロジスティクス」で記載されている
目指す将来像の項目としては、下記が記載されております。

- SCMによる無駄の徹底排除
- 鉄道・船舶輸送インフラの充実と繁ぎ目のない流通網の実現
- 高効率自動車による域内輸送

詳細は下記環境省ホームページをご参照ください。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=9735>

★

グリーン物流研究会 5月21日に第1回会合を開催

★

グリーン物流研究会は、「ロジスティクス環境会議」の1活動組織として、ロジスティクス分野における環境負荷低減活動を推進するため、参加メンバー等からグリーン物流の各種施策の実施事例等の情報交換等を通じて、実践的な改善施策の研究をすすめており、5月21日時点で84社(自治体等も含む)の方にご登録いただいております。

ます。

その第1回会合が5月21日(水)に中央大学駿河台記念館(東京都千代田区)で開催され、72名の方が参加されました。

当日は、当研究会幹事の下村博史氏(株)日本総合研究所 総合研究部門 上席主任研究員)から当研究会の運営方法等の説明の後、環境に関する専門雑誌「日経エコロジー」の副編集長の斎藤正一氏より「物流に求められる環境対応とは」と題して講演が行われました。

最後に、研究会メンバーの人的交流を図る目的で、名刺交換会を行いました。

当日の講演概要、会場風景等は下記をご参照ください。

<グリーン物流研究会 ブログ>

<http://plaza.rakuten.co.jp/greenlogistics/diary/200805210000/>

<環境会議ホームページ>

<http://www.logistics.or.jp/green/info/info7.html>

★

■第4期グリーンロジスティクスエキスパート講座(東京)■

ー7月11日(金)開講!!ー

★

JILSでは、物流・ロジスティクス分野における環境負荷の現状を定量的に把握し、その低減のための循環型システムを計画立案、推進、評価できる人材の育成を目的として、「グリーンロジスティクスエキスパート講座」を本年7月より開講いたします。

本講座を受講し、修了基準を満たした方には「グリーンロジスティクス管理士」の資格が授与されます、これまでに88名(69社)の方が取得され、省エネ法で求められている省エネ責任者(省エネのための取組を理解し、各関係者に必要な取組を指示できる、国に対して提出する「定期報告書」「計画書」の策定責任者)等、各企業で活躍しております。

環境負荷とコスト削減の両立を推進し得る人材の育成のために、本講座をぜひご利用ください。

(本講座の特長)

- ・ロジスティクス領域における環境対応を担う実務リーダーに不可欠な専門知識を習得できるカリキュラムとなっております。
- ・実践を念頭においた受講者参加型のプログラムを下記のとおり豊富に取り入れ、実践経験豊富な講師より指導を得られます。
 - 自社業務に関連する法令のレポート、及び発表
 - 異業種メンバーとのグループ討議による環境負荷低減施策の立案、発表(計3回)
 - 自社における環境負荷低減施策の実施計画案作成

【会期】2008年7月11日(金)~12月12日(金) 12日間

【会場】東京都内会場

【定員】50名

【対象】製造業・流通業・物流業のロジスティクス・物流・環境部門のリーダー層

【受講料】JILS会 員:294,000円(税込)

JILS会員外:367,500円(税込)

※物流技術管理士、国際物流管理士の資格取得者には優待割引があります。

【問合せ先】本部 人材教育部 TEL:03-5484-4021

詳細プログラム、これまでの資格取得企業一覧等は、下記URLをご参照ください。

(PDF1. 14MB)

www.logistics.or.jp/education/seminar/pdf/2008/08h_BA0814_dai4green.pdf

★

■第4回グリーン物流基礎コース(大阪開催)■

会期:7月24日・8月7日・8月22日(3日間)

★

JILS関西支部では、物流・ロジスティクス分野における環境負荷低減施策の基礎知識を体系的に学び、基本的な環境負荷低減の計画立案、実践ができる人材の育成を目的とした「第4回グリーン物流基礎コース」を2008年7月24日(木)に開講いたします。

本コースは、物流・ロジスティクス分野における環境問題全般と、「輸配送」、「包装」、「静脈物流と廃棄物削減」に関する環境負荷低減施策の基本的な項目について、理論、実務両面から学ぶことができます。

本コースは、係長、業務担当者クラスの方々に加え、(物流技術管理士等の資格を取得された方を含め)物流に関して一通りの知識を有した方が、「環境の視点から物流を再確認・再整理」し、「コスト削減と環境負荷低減が両立した取り組み」や「環境をテーマとした新たな物流サービスのヒント」を得るためにご活用いただくケースが増えております。

関係各位の積極的なご参加をお待ちしております。

【会 期】2008年7月24日(木)、8月7日(木)、8月22日(金)

【会 場】大阪リバーサイドホテル(大阪市都島区)

【定 員】30名

【対 象】物流・ロジスティクス分野における環境負荷低減施策に取り組む方で、基本的な知識を必要とされる係長・主任・スタッフの方々や、新任担当者の方々

【参加料】84,000円/JILS会員、99,750円/JILS会員外

※ロジスティクス経営士、物流技術管理士、国際物流管理士、グリーンロジスティクス管理士の資格取得者には優待割引があります。

詳細はパンフレットの申込規定をご覧ください。

【問合先】関西支部 TEL. 06-4797-2070

※プログラムの詳細は下記URLをご参照ください。(PDF2. 0MB)

http://www.logistics.or.jp/education/seminar/pdf/2008/08K_GLB.pdf

★

<6月6日開催>第2期環境会議委員会活動 成果発表会のご案内

★

ロジスティクス環境会議では、このたび、第2期環境会議の活動成果をご紹介することにより、第2、3期メンバー企業等の皆様の環境負荷低減活動の一助としていただくとともに、環境会議の活動に対して理解を深めていただくことを目的に、本発表会を開催いたします。

開催間際となっておりますので、参加をご希望の方はお早めにお申込ください。

【日 時】2008年6月6日(金) 13:20~16:55

【会 場】人事労務会館 3F 大会議室
東京都品川区大崎2-4-3

【参加対象】

・環境会議第2、3期登録メンバー企業の方

・環境会議への参加を検討されている企業の方

【参加料金】

無 料

【参加定員】

90名(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

【詳細プログラム、申込方法等はこちら】

<http://www.logistics.or.jp/green/info/pdf/080606.pdf>

★-----
<コラム>メーカーの物流部門における環境対応に必要なことは？

★-----

メーカーの環境報告書等で環境方針を見ると、「商品の企画・設計から部品調達、生産、物流にいたるまで地球環境負荷低減を追求」や「サプライチェーン全体での環境負荷低減」といったような記載をよく目にします。

当然のことながら、その一部を担う物流部門においても環境対応を積極的に推進していることと思いますが、現実には他部門との関係でなかなか進まない会社も多いようです。

そこで、今回、メーカーの物流部門において環境対応を進めるために必要だと考えられることをご紹介します。

<全文はこちら>

<http://www.logistics.or.jp/green/info/pdf/column080528.pdf>

(PDF190KB)

<文書内に出てくる参考情報>

・グリーンロジスティクスエキスパート講座

<http://www.logistics.or.jp/green/info/gle4.html>

*****CGLNEWS Ⅲ 配信について*****

■本メールは第3期ロジスティクス環境会議

代表登録者・連絡窓口・研究会・委員会にご登録いただいている方に配信しております。(メールの登録のある方のみ)

■発信元: 社団法人日本ロジスティクスシステム協会

■お問い合わせ、配信停止・変更は: cgl@logistics.or.jp

(C) CGL NEWS All Rights Reserved.
